

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行済株式総数..... 109,663,524株
株主総数..... 16,105名

大株主

株主名	(千株)	(%)
	持株数	持株比率
三井物産株式会社	30,524	27.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,620	6.03
農林中央金庫	4,653	4.24
日本ユニシス従業員持株会	3,302	3.01
日本証券金融株式会社	2,931	2.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,822	2.57
全日本空輸株式会社	1,794	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,271	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,147	1.04
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,016	0.92

(注) 上記の他、当社は自己株式15,670,497株(持株比率14.28%)を保有しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座管理機関事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)
特別口座に関する事務取次所	みずほ信託銀行 全国各支店 みずほインベスターズ証券 全国本支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056)

- 証券会社に口座を開設されている株主さまが、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。株券電子化後、これらのお手続きは、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、上記「電話お問い合わせ先」または「特別口座に関する事務取次所」までお申し出ください。

日本ユニシス株式会社

本社 〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1 電話:03-5546-4111(大代表)



Forest Stewardship Council(森林管理協議会)の基準に基づき認証をされた、適切に管理された森林からの材料を含むFSC認証紙を使用しています。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用し、大気安全に配慮しています。



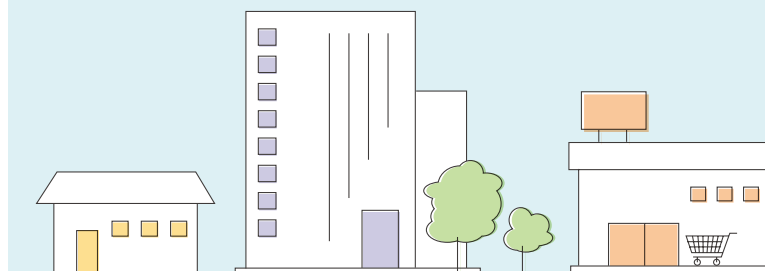
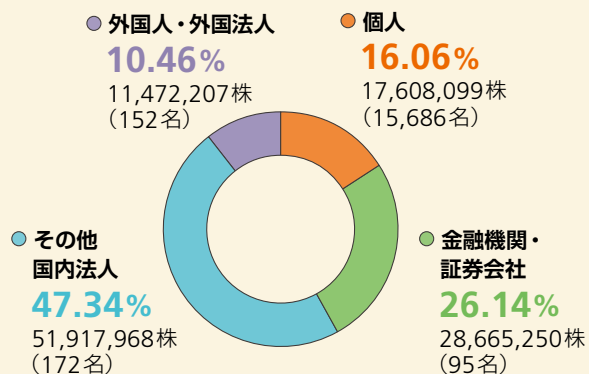
石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用し、VOC(揮発性有機化合物)を削減し、大気安全に配慮しています。

UNISYS

第68期 中間報告書

2011年4月1日~2011年9月30日

所有者別分布状況



日本ユニシス株式会社



お客さまの「パートナー」として 持続的に成長する企業を 目指します。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今期注力しております「3つの重点施策」についてお話しします。

1つめは、「トップラインを成長軌道に戻す」こと。主力事業であるシステムサービスの受注拡大に向けて、SE／営業を一体化し、提案力の強化を図っており、上期のシステムサービスの受注が回復してまいりました。また、保守サービスで定評のあるユニアデックス株式会社を中心として、製品販売を強化しており、上期は好調となっております。

2つめは、「収益性改善に向けた構造改革に取り組む」こと。従来よりコスト構造を改革してまいりました地方銀行向けオープン勘定系システム「BankVision®」は、今年5月には7行目が稼働を開始しました。ご利用行からは、安全性・柔軟性を高くご評価頂いており、これまでの実績をベースに、さらなる採用行の拡大に向けて取り組んでいきます。

最後に「中長期的な安定成長に向けた施策に取り組む」こと。中長期的な継続取引となるサービス型事業の拡大に取り組んでおり、この上期もアウトソーシング事業は増収増益となりました。また、事業継続計画（BCP）対策需要が高まっており、バックアップやサーバーの地域分散に向けたセールスを強化しております。

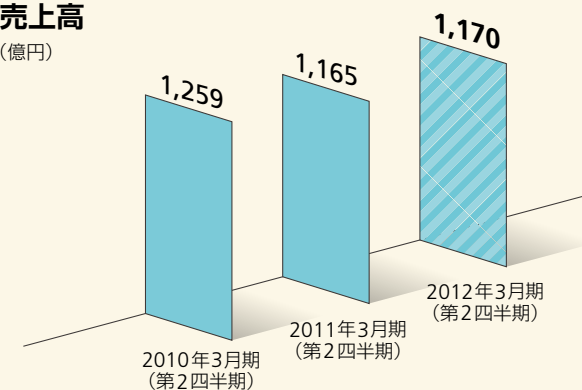
今期はこの3つの施策に加え、「計画達成にこだわる」、「技術力・現場力・スピード力」を掲げた社内改革に取り組むことで、「お客さまのパートナーとして持続的に成長する企業」を目指して邁進してまいります。

今後とも株主のみなさまの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

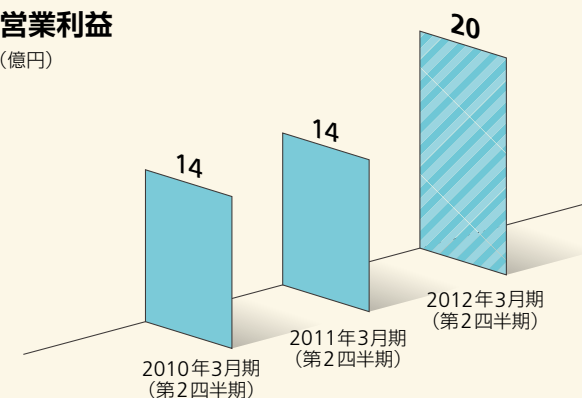
2011年12月
代表取締役社長

黒川 茂

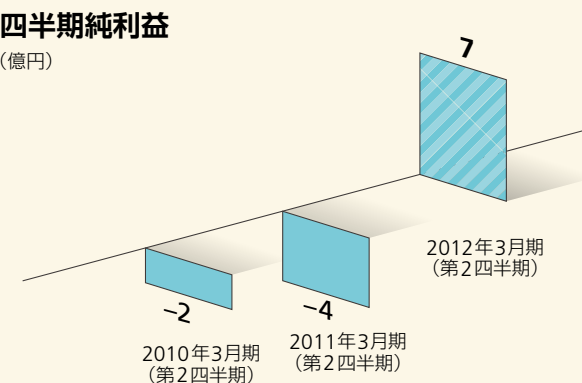
売上高
(億円)



営業利益
(億円)



四半期純利益
(億円)



2012年3月期 第2四半期連結決算のポイント

業績のポイント

東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、売上高は、機器販売やアウトソーシングが牽引し、1,170億円(前年同期比0.4%増)となりました。販売費及び一般管理費の抑制などのコスト低減で、営業利益は20億円(同43.9%増)、経常利益は18億円(同55.4%増)となりました。四半期純利益は資産除去債務の初年度負担がなくなったこと等により、7億円(黒字転換)となりました。

財務のポイント

総資産は売掛金の減少などにより前期末比95億円減少の1,978億円となりました。

負債は買掛金の減少、借入金の返済などにより同97億円減少の1,209億円となりました。

純資産は同2億円増加の769億円となり、自己資本比率は、前期末から+1.9ポイント改善し、38.3%となりました。

2012年3月期 業績予想

当期の業績見通しについては、期初からの変更はなく、売上高2,550億円、営業利益70億円、当期純利益32億円を計画しています。

配当計画

配当については、企業価値の増大が最も重要な株主還元であるとの認識のもと、「業績に応じた配当」を基本方針として、連結配当性向20%以上を目安に安定的、継続的な利益配分に努めています。当期の配当金は、前期と同額の1株当たり年間10円の見通しで、中間配当金は5円とさせていただきます。

(百万円)

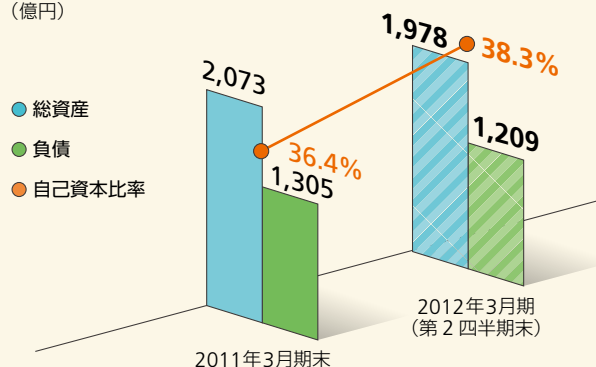
業績の推移	2011年3月期 (第2四半期)	2012年3月期 (第2四半期)
売上高	116,531	117,049
売上総利益	31,035	30,683
販売費及び一般管理費	29,648	28,687
営業利益	1,386	1,995
経常利益	1,162	1,806
四半期純利益	-365	688

(百万円)

財務の推移	2011年3月期末	2012年3月期 (第2四半期末)
流動資産	112,943	103,968
固定資産	94,338	93,825
資産合計	207,282	197,794
流動負債	79,195	72,584
固定負債	51,316	48,270
負債合計	130,512	120,855
純資産合計	76,770	76,938
負債純資産合計	207,282	197,794

総資産・負債・自己資本比率

(億円)



トピックス

常にお客さま
～ 持続的に成長

統合システムマネジメント
サービス IP&A®

これまでの運用保守の概念 になかった「予見化」を実現

日本ユニシスグループで国内有数のマルチベンダー保守サービス企業であるユニアデックス株式会社では、システム障害が企業に与える影響度を分析し、障害を未然に防ぐための改善提案を行う「統合システムマネジメントサービス IP&A®」の提供を開始しました。

これまでの運用保守の概念になかった能動型サービスであり、「予見化」を実現するサービスです。事業継続に対するニーズは根強く、数多くの引き合いを頂いています。



TM & © 2011 LFL

のビジネスの進化・発展を支えるパートナーを目指して する企業へ～

将来の銀行ビジネスモデルの変革を支援

BankVision® 7行目となる 鹿児島銀行の新勘定系システムが稼働開始

BankVision®は、世界で初めてWindows®技術を全面採用した勘定系システムです。安全性・信頼性に加え、各種の業務・サービスを柔軟に追加・変更できる仕組みのため、最先端の商品・サービスをタイムリーに提供することが可能となります。

日本ユニシスグループは、長年にわたり金融機関向けの勘定系システムを提供しており、豊富なノウハウと技術力を蓄積しています。BankVision®は、株式会社鹿児島銀行で7行目の稼働となり、さらに2011年10月には、株式会社北國銀行にて採用検討に合意して頂きました。これをはじめに20行を目指して拡販していきます。



国内で注目、ギフトカードビジネス

ティーガイアと協業して、 「ギフトカードモール」ビジネスを展開

日本ユニシスグループは2011年7月から、株式会社ティーガイアと協業して、まずは全国のローソン店舗にギフトカードを陳列・販売する「ギフトカードモール」を設けてプリペイドギフトカードの販売を開始しました。このギフトカードは、全ての価値がサーバーで管理されているため、店舗のレジで入金処理するまでは価値が発生せず、盗難防止や在庫管理の負荷軽減効果があります。今後、量販店、携帯電話ショップ、ECサイトなどに向けて、カードモールビジネスの導入支援を積極的に進めていきます。



日本ユニシス実業団 バドミントン部レポート



「日本リーグ2011」4戦全勝で暫定首位

10月15日、北海道札幌市において「日本リーグ2011」が開幕しました。昨年、男女アベック優勝を果たした日本ユニシス実業団バドミントン部は、リーグ前半を終えて男子チーム、女子チームとも4戦全勝の暫定首位で“男女アベックV2”に向けて快走中!

リーグ後半戦は12月17日から再開します。福井、金沢、埼玉、東京の各地で試合を開催しますので、お近くの方はぜひ会場で選手達にエールをお送りください。



実業団バドミントン部オフィシャルサイト
www.unisys.co.jp/badminton/

プレミアスーパーシリーズ 「デンマークオープン2011」

混合ダブルス 池田・潮田組 / 女子ダブルス 高橋・松友組がベスト8

10月18日～23日、デンマーク・オーデンセにて「デンマークオープン2011」が開催され、日本ユニシス実業団バドミントン部の混合ダブルス 池田信太郎・潮田玲子組と女子ダブルス 高橋礼華・松友美佐紀組がベスト8入りを果たしました。

デンマークオープンとは、オリンピック、世界選手権に次ぐ、「プレミアスーパーシリーズ」というグレードの高い大会。

日本から参戦したナショナルメンバーの中でもベスト8まで勝ち進んだ選手はわずか3組という快挙に、池田・潮田組は、「ベスト8という大きな壁を破ることができ、レースの貴重な

ポイントを獲得できました。ロンドンへの切符をつかめるよう、さらに上を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします」と力強く語っています。



左より、潮田、池田